

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】令和 3 年 9 月 30 日 (2021.9.30)

【公開番号】特開 2020-3467 (P2020-3467A)
 【公開日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-001
 【出願番号】特願 2018-157416 (P2018-157416)
 【国際特許分類】

G 0 1 S 19/34 (2010.01)

【F I】

G 0 1 S 19/34

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 18 日 (2021.8.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

現在位置を測位する測位手段と、
 ユーザの移動に関するスケジュール情報を設定する設定手段と、
 現在時刻が前記設定手段により設定された前記ユーザの出発予定時刻となった場合、前記測位手段の動作状態を停止状態から作動状態に切り替える制御を行う制御手段と、
 を有することを特徴とする電子機器。

【請求項 2】

現在位置を測位する測位手段と、
 ユーザの移動に関するスケジュール情報を設定する設定手段と、
 現在時刻が前記設定手段により設定された前記ユーザの到着予定時刻となった場合、前記測位手段の動作状態を作動状態から停止状態に切り替える制御を行う制御手段と、
 を有することを特徴とする電子機器。

【請求項 3】

前記制御手段は、
 前記測位手段が作動状態、且つ、現在時刻と前記設定手段により設定された前記出発予定時刻との時間差が所定時間内の場合に、表示部に前記測位手段の作動状態を継続するか否かの選択画面を表示させ、
 前記選択画面で作動状態の継続が選択された場合には作動状態を継続させる制御を行い、

前記選択画面で作動状態を継続させない選択がされた場合には前記測位手段を作動状態から停止状態に切り替える制御を行う、
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の電子機器。

【請求項 4】

現在位置を測位する測位手段を有する電子機器が行う情報処理方法であって、
 ユーザの移動に関するスケジュール情報を設定する設定ステップと、
 現在時刻が前記設定ステップにより設定された前記ユーザの出発予定時刻となった場合、前記測位手段の動作状態を停止状態から作動状態に切り替える制御を行う制御ステップと、
 を有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 5】

現在位置を測位する測位手段を有する電子機器が行う情報処理方法であって、
ユーザの移動に関するスケジュール情報を設定する設定ステップと、
現在時刻が前記設定ステップにより設定された前記ユーザの到着予定時刻となった場合
、前記測位手段の動作状態を停止状態から作動状態に切り替える制御を行う制御ステップ
と、
を有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 6】

現在位置を測位する測位手段を有する電子機器のコンピュータを、
ユーザの移動に関するスケジュール情報を設定する設定手段、
現在時刻が前記設定手段により設定された前記ユーザの出発予定時刻となった場合、前
記測位手段の動作状態を停止状態から作動状態に切り替える制御を行う制御手段、
として機能させることを特徴とする情報処理プログラム。

【請求項 7】

現在位置を測位する測位手段を有する電子機器のコンピュータを、
ユーザの移動に関するスケジュール情報を設定する設定手段、
現在時刻が前記設定手段により設定された前記ユーザの到着予定時刻となった場合、前
記測位手段の動作状態を作動状態から停止状態に切り替える制御を行う制御手段、
として機能させることを特徴とする情報処理プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するため、本発明の一態様の電子機器は、
現在位置を測位する測位手段と、
ユーザの移動に関するスケジュール情報を設定する設定手段と、
現在時刻が前記設定手段により設定された前記ユーザの出発予定時刻となった場合、前
記測位手段の動作状態を停止状態から作動状態に切り替える制御を行う制御手段と、
を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0082

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0082】

ステップ S 16 において、第 1 の動作状態制御部 114 は、ユーザからの主機能作動状態の継続指示があったか否かを判定する。主機能作動状態への継続指示があった場合は、ステップ S 16 において Yes と判定され、処理はステップ S 23 に進む。一方で、主機能作動状態への切り替え指示ではなく、稼働時間拡張処理の終了指示があった場合は、ステップ S 16 において No と判定され、稼働時間拡張処理は終了する。